

工事現場拝見!!

ここでは、当社で工事をさせて頂いたお客様のお宅をピックアップしてご紹介いたします。

〇様邸住宅改修工事



築18年のこちらのお宅は、傷み始めてきた屋根・外壁の工事を中心に、住宅の改修工事を行うことになりました。



まず足場を掛け、既存の窯業系のサイディングを全て撤去していきます。



外壁の下地となっていた胴縁とその下のシーリングボードという木質系の板を剥がしていくと断熱材が見えてきました。



娘さんのリクエストで、浴室にはちょっと豪華にTVが付きました。



玄関ドアを断熱性の高いものに交換し、風除室も取り付けました。



その上に今度はOSBパネルと白い防水のシートを貼って、防水テープで目地をしっかりとめていきます。

屋根も一部張替え、その他の部分も塗装をしました。家の凹凸部分を縦張りの金属サイディングで張り分けすることで、メリハリのある印象になりました。

屋根も、雪が落ちない様に形を変えました!

完成です!!



エルム通信

～春号～

2011.3 Vol.13



エルムの新築やリフォームを手掛けてくれている職人さん達をシリーズで紹介します。今回は、これまでも何度も登場している沖田大工さんをご紹介します。

***** 今回は、『沖田大工さん』 *****



沖田大工さん

自分で家を建ててみたい!と17歳の頃から大工の道を歩み始めて、今年でこの道45年の沖田さん。新築やリフォームの現場では中心となっていていつも大活躍してくれています。今回は、そんな沖田さんがお客様にちょっとしたプレゼントに...と作り始めた作品たちをご紹介します。



鳥のエサ台。

縁起のいいオソコノホを使用。

リフォームなどの工事の際に発生する捨てられてしまう廃材や、形の良い枝などを利用してそれぞれの自然の持ち味を生かしたものを作りたい、と4年程前から鳥のエサ台や巣箱、最近では花の鉢などが置けるイス型の花台などを製作しています。木材の使い方にはこだわりがあり、1つの作品は1種類の木で作上げ、また伐採したばかりの木材はどうしても割れやすいため、最低でも2~3年程寝かせ、しっかりと乾燥させた材料を使っています。程よくバラつきのある枝が並んだイスや、木のうねりを利用した鳥のエサ台など、一つ一つそれぞれに味があり、沖田さんならではのセンスで木の良さを生かした作品たちになっています。



白樺の枝を使った椅子。

鉢植えを置く台としても○。



1つ1つ心を込めて作っています。

どんな風に使ってもらうかは使う人にお任せします、と沖田さん。毎年春と秋に開催しておりますリフォーム相談会でも(数量限定ですが)ご希望の方にはプレゼントしておりますので、ご興味がおありの方は是非お越し下さい。沖田さん、これからも味のある新作を楽しみにしています!!

春のリフォーム相談会
4月16(土)、17日(日)開催
予定!! 詳しくはチラシ又はホームページでご確認下さい。

この街で生まれ育って32年

エルム建設株式会社

北広島市共栄町4丁目17番地8

Tel 0120-370-240

E-Mail house@elmnet.co.jp



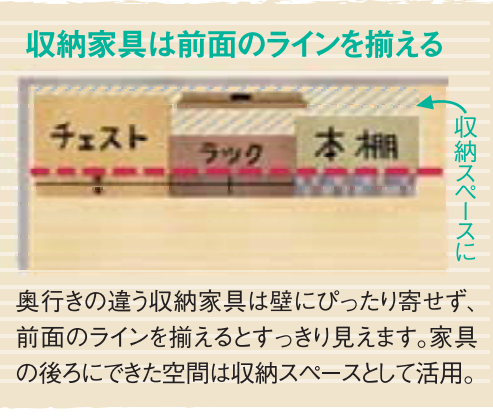
春の模様替えに。すてきな部屋づくりレッスン くつろげる家具配置の決め手



同じスペースに同じ数の家具ですが、家具をL字にまとめた右のリビングのほうが広く見えます。とくに入り口近くに家具を置かないようにすると、入ってきたときの印象が広々としてより効果的です。



生活感の出やすいキッチンは、くつろいだときに視界に入らないような家具配置を。



奥行きが違う収納家具は壁にぴったり寄せず、前面のラインを揃えるとすっきり見えます。家具の後ろにできた空間は収納スペースとして活用。



家具はなるべくまとめて床面を広くあける配置にリビングでは、いちばん場所をとるソファの配置が重要です。左のふたつのイラストは対面式の配置とL字の配置を比較したものです。どちらが広く見えるかは一目瞭然。ソファも他の家具もひとまとめでゆとりを生むコツです。さらに、部屋の入り口のまわりをすっきりさせると、広々とした印象がより強調されます。また、生活感の出やすいダイニングでは、どの席からも真正面にキッチンが見えない配置がベストです。キッチンと食卓の間をカウンタなどで仕切ると万全です。収納家具を並べるときはなるべく凸凹を作らないようにすることです。居心地のよさにつながります。

家具はなるべくまとめて床面を広くあける配置にリビングでは、いちばん場所をとるソファの配置が重要です。左のふたつのイラストは対面式の配置とL字の配置を比較したものです。どちらが広く見えるかは一目瞭然。ソファも他の家具もひとまとめでゆとりを生むコツです。さらに、部屋の入り口のまわりをすっきりさせると、広々とした印象がより強調されます。また、生活感の出やすいダイニングでは、どの席からも真正面にキッチンが見えない配置がベストです。キッチンと食卓の間をカウンタなどで仕切ると万全です。収納家具を並べるときはなるべく凸凹を作らないようにすることです。居心地のよさにつながります。

暮らしのワンポイント

はじめよう! エコクッキング

まずは毎日のひと工夫から、環境にやさしいエコライフを

資源を節約し、環境を汚さないために、毎日のクッキングを見直してみませんか。

例えば、不必要に材料を買いすぎないこと、ハウス栽培などと比べてより環境にやさしい旬の野菜や果物を選ぶこと、食事の後のお皿はいらぬ紙などで拭いてから洗い、排水を汚さないこと。こんな工夫を積み重ねることで、環境に与える負担はぐっと減らせます。まずは小さな1歩から、あなたも始めてみませんか!

暮らしのヒント

春は住まいのシェイプアップの季節です

いらぬものを捨てて、本当に必要なものだけに囲まれて暮らしたい。いま話題の断捨離(だんしゃり)、ご存知ですか? 使わないものは思いきって処分し、本当に必要なものだけ残すという片づけ術です。春は気分がフレッシュになる季節。この機会に住まいの中のものをひとつひとつ吟味してみませんか。何年も使っていないものや古くなったものはごっそり処分して、シェイプアップされた美しい部屋を目指しましょう。

☆ししぴ☆

材料 (4人分)

- 米 ……2カップ ●ねり梅(梅干) ……20g

調味液A

- 酢 ……大さじ1
- 砂糖 ……小さじ1
- 塩 ……小さじ1/2
- しょうゆ ……小さじ1
- ごま油 ……小さじ1/2

具

- ちりめんじゃこ ……20g
- サラダ油 ……大さじ1 1/2
- しそ ……5枚
- みょうが ……1/2個
- しょうが ……1/2片

1. 米に調味液Aと米の1.5倍量の水を入れて炊く。
2. ちりめんじゃこはサラダ油でカリッとしたため、しそ、みょうが、しょうがはせん切りしておく。
3. 炊き上がったご飯に2.を混ぜ合わせる。
4. お好みで上にねり梅をのせて完成です。



【香味野菜のさっぱり混ぜご飯】

けんちく豆知識

平成23年より

住宅エコポイントがさらにお得になりました。

住宅エコポイントとは、地球温暖化対策や経済の活性化を図ることを目的として、エコ住宅の新築やエコリフォームをされた方にポイントを発行し、商品との交換や追加工事の費用に充当できる制度です。

窓の断熱改修	内窓取付/外窓交換 大(2.8㎡以上) 18,000 ポイント	ガラス交換 大(1.4㎡以上) 7,000 ポイント	① 又は②の改修工事とあわせて行う バリアフリー、住宅設備工事 については、施工内容に応じてエコポイントの発行対象になります。
	中(1.6㎡以上2.8㎡未満) 12,000 ポイント	中(0.8㎡以上1.4㎡未満) 4,000 ポイント	
	小(0.2㎡以上1.6㎡未満) 7,000 ポイント	小(0.1㎡以上0.8㎡未満) 2,000 ポイント	
② 外壁、屋根・天井又は床の断熱改修			今年から新たに追加 住宅設備
外壁 100,000 ポイント	屋根・天井 30,000 ポイント	床 50,000 ポイント	
バリアフリー			
①又は②の改修工事とあわせて行う バリアフリー、住宅設備工事 については、施工内容に応じてエコポイントの発行対象になります。			今年から新たに追加 住宅設備
手すりの設置 5,000 ポイント			
段差解消 5,000 ポイント			
廊下幅等の拡張 25,000 ポイント			今年から新たに追加 住宅設備
節水型トイレの設置 20,000 ポイント			
高断熱浴槽の設置 20,000 ポイント			
太陽熱利用システム設置 20,000 ポイント			

—ポイントの発行対象となる工事の期間—
平成22年1月1日～平成23年12月31日に着手したもの。

※発行されるポイントは
300,000ポイントが限度となります。

エコ住宅の新築

次の①又は②に該当する新築住宅

- ①省エネ法のトップランナー基準相当の住宅。
- ②省エネ基準(平成11年基準)を満たす木造住宅。

※発行されるポイント数は
一戸あたり
300,000ポイント

これに併せて太陽熱利用システムを設置した場合は
320,000ポイント

—ポイントの発行対象となる工事の期間—
平成21年12月8日～平成23年12月31日に建築着工したもの。

ポイントの交換対象

- 商品交換(商品券や地域産品などに交換)
- 環境寄附(環境保全を行う団体へ寄附)
- 即時交換(追加で実施する工事費用へ充当)

免許証や保険証などの身分の証明
できるものがあれば、面倒な申請
手続きは当社が行います。